

人工林材から内装材を効率的に生産するための生産・加工システムを開発しました

## 背景

**木質内装材**：住宅資材として大きな市場を持つが、原料は輸入材に頼っている（美観も重要）

**人工林材**：これまで欠点として扱われてきた節などにより、歩留まりの低下を招いている

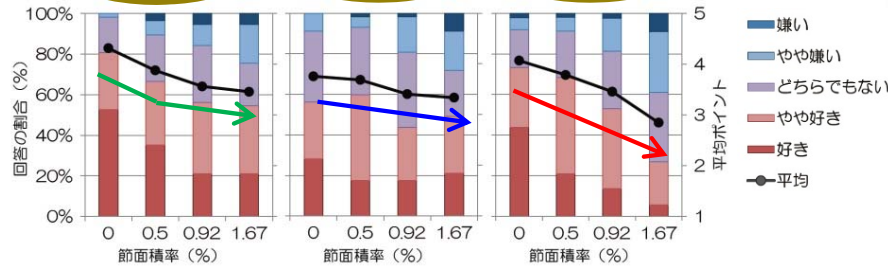
国産人工林材を使った床材・壁材などの需要拡大を目指す  
→節に関わる問題を解決

## 内装材の品質と意匠性の向上を図る取り組み

- ・節を減らす生産技術
- ・節の印象をとらえる技術
- ・節の脱落を防ぐ加工技術

## 成果

枝打ちあり      枝打ちなし



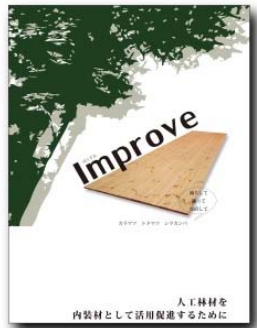
枝打ちすると、節ができにくくなります

住宅では節が多いと見た目の好ましさは下がりますが、ホールや学校では好ましさはそれほど下がりにません



## システム構成

- ・節認識処理装置
- ・処理剤連続塗布装置
- ・処理剤硬化装置
- ※あわせて開発
- ・最適な処理剤



枝打ちは節を減らす

場所により、節の印象は低下しない

節脱落防止装置を開発

冊子等により  
成果を広く普及

## 期待される効果

（成果）付加価値の高い内装材の効率的な生産技術

特許出願、製品化

低コストで均質な製品製造技術の企業への普及

内装材用途拡大による道産材の需要拡大と木材受給率の向上

節が抜け落ちると美観や表面のなめらかさが損なわれ、人手で前処理するとコストアップなどに繋がります

※この研究は、農林水産省「新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業」において「ITにより低コストに人工林材から内装材を製造する生産・加工システムの開発」（平成23～25年度）として実施しました。